

愛知県感染症情報

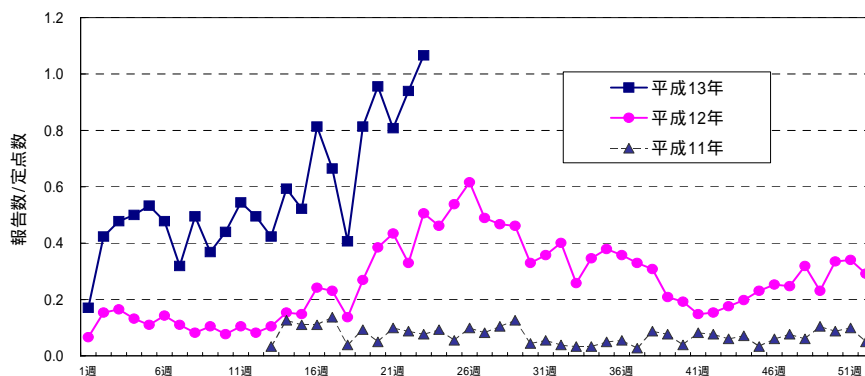
平成 13 年第 23 週（6 月第 1 週）

（コメント）

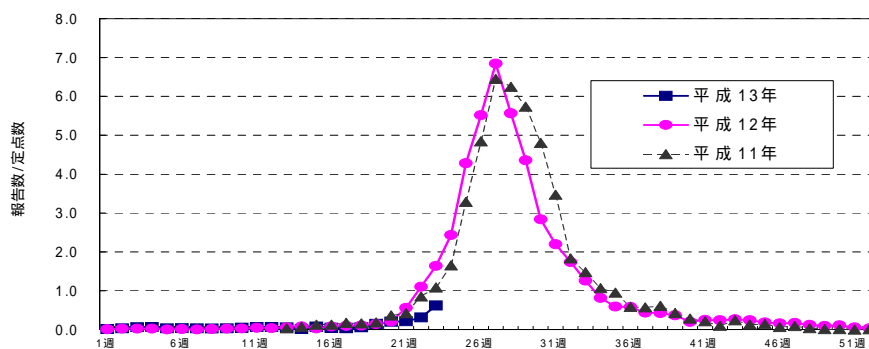
咽頭結膜熱、伝染性紅斑は、依然昨年より多い状況が続いていますので注意してください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も報告数の多い状況が続いています。

手足口病、ヘルパンギーナは、流行期に入りました。



伝染性紅斑（名古屋市を含む。平成11年は、13週（4月1日～）から）



ヘルパンギーナ（名古屋市を含む。平成11年は、13週（4月1日～）から）

（定点の先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
 - ・ 今年の夏、初めて手足口病とヘルパンギーナが1例ずつありました。水痘流行中
（一宮市 あさのこどもクリニック）
 - ・ 咽頭結膜熱、増加傾向
（一宮市 後藤小児科）
 - ・ 病原性大腸菌検出者 O1（5歳男、13歳女、12歳男）、O18（4歳女、2歳女）、O26 29歳女、O55 3歳女
（尾西市 城後小児科）

- ・ ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱が続発。水痘も多し。麻疹散発して目立ちます。
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
- ・ 手足口病、感染症が増加してきました。伝染性紅斑の流行続いています。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- 尾張東部地区
 - ・ 相変わらず咽頭結膜熱が多くみられます。(1~13歳、15名)
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ 流行性耳下腺炎、まだ流行続いています。突発性発疹症が少し目立ちました。溶連菌感染症も小流行あり。今週は学童・幼児にアデノウイルス感染症と思われる症例が多く認められました。(高熱持続し下痢を伴う症例多くありました)
(尾張旭市 佐伯小児科医院)
 - ・ カンピロバクター感染症 1名。
(豊明市 豊明団地診療所)
 - ・ 今週は感染性腸炎が多くみられました。
(春日井市 かちがわ北病院)
 - ・ 発疹を伴う夏風邪がかなり見られます。
(小牧市 志水こどもクリニック)
 - ・ ムンプス流行、髄膜炎例あり。
(小牧市 小牧市民病院)
 - ・ ムンプス髄膜炎(2歳男、4歳男)
(東海市 ハヤカワ医院)
- 西三河地区
 - ・ 病原性大腸菌 01(13歳男、1歳女) 015 2歳女
カンピロバクタ - 腸炎 6歳男
(豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック)
 - ・ マイコプラズマ肺炎 2歳女
伝染性紅斑 男
(豊田市 やふそ小児科)
 - ・ 5/25 11歳女ムンプス(顎下腺のみ) MMR 接種あり、抗体 (IgG: 1.60(±))、6/3に髄膜炎発症
(岡崎市 杉浦医院)
 - ・ サルモネラ 2歳男、病原性大腸菌 0111 0歳男
ヘルパンギーナ、手足口病など夏カゼが出てきました

(岡崎市 花田こどもクリニック)

- ・ 病原性大腸菌 01 VT1・2(-) 29歳女
(岡崎市 スズキ医院)
- ・ カンピロバクター 4歳男
病原性大腸菌 01(+) VT1・2(-) 32歳女
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ 病原性大腸菌 08 8歳女
(岡崎市 水野医院)
- ・ カンピロバクター(5歳男、12歳女)
病原性大腸菌 015 VT(-) 7歳男
(幸田町 とみた小児科)
- ・ 溶連菌感染症引き続き多い。
マイコプラズマ肺炎(7歳男、12歳女)
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ 水痘が増加、成人1名(母親)重症水痘。
(西尾市 やすい小児科)
- 東三河地区
 - ・ 麻疹は前回の同胞、弟はワクチン未接種、姉はワクチン済。
(豊橋市 富田小児科)
 - ・ ムンプス 7歳女(ムンプスワクチン接種後20日目に発症。典型的な経過でした。)
(蒲郡市 医療法人鈴木小児科医院)

(1~3類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者3名

- ・ 豊橋市保健所から報告の21歳男。6/3発病、6/3初診、6/5診定。
菌型は、0157 VT2(+)
- ・ 春日井保健所から報告の1歳男。6/3発病、6/4初診、6/8診定。
菌型は、026 VT1(+)
- ・ 安城保健所から報告の23歳女。5/31発病、6/4初診、6/6診定。
菌型は、026 VT(+)

細菌性赤痢患者1名

豊田市保健所から報告の24歳男。5/10発病、6/7初診、6/7診定。
菌型は、フレキシネルb型。インドネシア渡航歴あり。

(全数把握の4類感染症の発生状況)
報告はありません。

第21週(5月21日～5月27日)の4類感染症の全国状況

麻疹の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数もここ10年間の最高レベルで推移しており、福井県で5.3、佐賀県で3.2と多い。伝染性紅斑は関東地方と愛知県、三重県、福岡県などで増加しており、定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている。流行性角結膜炎も定点当たり報告数が過去の同時期と比較してやや多くなっており、茨城県で4.3となっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)